

## 研究計画書

ゼミ名	森本ゼミⅡ	チーム名	IT
タイトル	IT 革命と運輸・交通量増減の相関関係について		
テーマ群	e) 産業、企業		
メンバー			
研究計画内容	<p>新型コロナウイルスが蔓延する今日、世界情勢はいま現在も混乱し、先行きが見通せない状況が続いています。また、未曾有の疫病大流行により、感染拡大防止の観点から観光などの自粛が要請されました。このため特に三密になりやすいとされる、飛行機や客船などの公共交通機関の利用者数は前年と比較して激減している現状があります。また、日々の生活において通勤、通学で利用する鉄道も、在宅勤務、テレワークの急増に伴い、打撃を受けました。</p> <p>幸いなことに、今日ではインターネット回線の発達により、理論上世界中様々な地域と繋がるのが可能となっています。それを応用した zoom などに代表される遠隔会議システムを使えば、わざわざ職場や学校に赴かなくとも、感染を防止しながら(業務にもよりますが)仕事を遂行でき、または授業を受けることができるということは言うまでもありません。</p> <p>このように書くと、IT 革命が起こる度に、遠くまで赴かずともその場で他人と意思疎通がより速く図ることが出来るようになる、そうすると将来的には移動手段を必要としない世界が来るのではないかと考える方も多いのではないのでしょうか。しかしながら、実際にテレワークなどのシステムは、このような状況下で急に IT 革命が起こって出来たというわけではなく、30 年以上前から存在したシステムがこの緊急事態を受けて急速に普及したに過ぎません。それでは、郵便制度から始まり、携帯電話、パソコンと辿り、今日のテレワーク普及まで続く IT 革命の発生が、本当に公共交通機関の利用者数を減少させる要因となり得るのか。実際のデータや数値を基に検証していきたいと考えます。</p>		